

# 京都府保健医療計画等に基づく肝炎対策の取組状況

## 1. 対策の方向

分野	計画の内容	令和元年度・令和2年度 取組状況
<p>感染予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若年層を中心とした府民に対し、感染の危険性のある行為について周知するなど、感染予防に必要な知識の普及啓発を地方公共団体、学校教育関係者、患者団体等の様々な関係者と連携し推進</li> <li>○ 医療現場における感染防止策の徹底を推進</li> <li>○ 乳児に対するB型肝炎ワクチン定期接種を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝臓週間での啓発 (R1. 7. 18 イオンモール京都)</li> <li>○ ホームページでの情報提供 (肝炎情報センター)</li> <li>○ リーフレット (知って肝炎) による啓発 (保健所窓口等で配布) 京都新聞での広告掲載 (R1. 7. 28発行)</li> <li>○ リビング京都での広告掲載 (R1. 7. 20発行)</li> <li>○ K B S 京都でのラジオCM (R1. 7. 22～7. 28)</li> <li>○ 府内各市町村で妊婦健診に合わせB型・C型肝炎ウイルス検査を実施 (全市町村)</li> <li>○ B型ワクチン定期接種の開始 (28年10月)</li> </ul>
<p>肝炎検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 効果的な受検勧奨や、より受検しやすい体制の整備等、職域における各医療保険者との連携等、受検機会拡大に向けた取組をより一層推進</li> <li>○ 陽性者が確実に治療に結びつくよう、検査結果が陽性であった者に対し、市町村や医療関係者と連携して精密検査の受診勧奨を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村、保健所、医療機関等における肝炎検査の実施 (令和元年度受検者 10,543人)</li> <li>○ 検査実施医療機関の拡充 57施設</li> <li>○ 保健所及び検査実施医療機関をホームページに掲載</li> <li>○ 初回精密検査費用の助成 19名</li> <li>○ 市町村・保健所職員向け研修の実施 (令和元年度 37名受講、令和2年度 37名受講)</li> <li>○ 出張肝炎ウイルス検査(R2. 10. 30 長岡京市検診会場 91名受検)</li> </ul>
<p>診療体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適切な医療を提供するため、肝疾患専門医療機関を拡充</li> <li>○ 肝疾患診療連携拠点病院を中心とした関係医療機関における情報共有及び連携を推進</li> <li>○ 陽性者を早期治療に結びつけ重症化予防を図るため、定期検査の受診勧奨を行う体制の整備</li> <li>○ 治療が必要な人に対し、肝疾患専門医療機関などの情報を提供するとともに、医療費の助成事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝疾患専門医療機関 214施設</li> <li>○ 肝疾患拠点病院である府立医大病院・京大病院で協議の上、連携事業を実施 (肝炎コーディネーター養成研修会)</li> <li>○ 定期検査費用の助成 20名</li> </ul>

計画の内容		令和元年度・令和2年度 取組状況
肝炎の予防及び医療に関する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝炎の正しい知識を持ち、相談、コーディネーター等を新たに養成するための研修を実施</li> <li>○ 肝炎診療連携拠点病院と連携し、肝炎患専門医療機関をはじめ、地域で肝炎治療を行う医師等を対象とした研修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村・保健所職員向け研修の実施 (H30.8.28 43名受講) (令和元年度 37名受講、令和2年度 37名受講)</li> <li>○ 肝炎検査啓発リーフレット及び医療費助成リーフレットの配付</li> <li>○ 肝炎コーディネーター養成研修会の開催 (R2.1.26 90名受講)</li> </ul>
肝炎に関する啓発及び知識の普及等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝炎の正しい知識や検査の必要性等を広く周知するため、より効果的な方法を検討し、引き続き普及啓発活動を推進</li> <li>○ 肝炎患者への偏見・差別の解消に向け、国の取組等を踏まえた普及啓発を推進</li> <li>○ 肝炎患者等が、働きながら継続的に治療を受けることができるよう、肝炎患者の就労支援を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝臓週間での啓発 (R1.7.18 イオンモール京都)</li> <li>○ ホームページでの情報提供 (肝炎情報センター)</li> <li>○ リーフレット (知って肝炎) による啓発 (保健所窓口等で配布)</li> <li>○ 京都新聞での広告掲載 (R1.7.28発行)</li> <li>○ リビング京都での広告掲載 (R1.7.20発行)</li> <li>○ K B S 京都でのラジオCM (R1.7.22~7.28) (以上 再掲)</li> <li>○ 肝炎ウイルス検査啓発マンガの作成</li> </ul>
相談支援体制の強化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝炎患者及びその家族に対する情報提供や、府民に対する肝炎の正しい知識の普及啓発を進めるとともに、肝炎診療連携拠点病院の相談支援機能の充実と北部地域の相談体制整備を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 府立医大病院肝炎患相談支援センター (H25.6~R2.3末 411件)</li> <li>○ 京大病院肝炎患相談支援センター (H22.4~R2.3末 715件)</li> <li>○ 京都府肝炎情報ガイドの作成 令和2年度 4,000部作成</li> <li>○ 肝炎対策協議会を1回開催 (R1.6.6)</li> </ul>

## 2. 数値目標

項目	計画策定時の数値	施策目標 (2023年度)	現状値
肝がんの年齢調整罹患率 (人口10万対)	17.2 (2013年度)	13.8	13.4 (平成29年度)
無料肝炎ウイルス検査実施医療機関数	57 (2016年度)	200	57 (令和3年1月末)
肝炎ウイルス検査の個別勧奨実施市町村	21市町村 (2017年度)	全市町村	22市町村 (令和2年度)
肝炎患者に対し相談支援等を行う人材 (肝炎コーディネーター) を養成	0人 (2017年度)	400人	128人 (令和元年度末)